

令和4年4月9日 入学式 式辞

春の気配もようやく整い、草木の緑が美しく映える季節となりました。本日、ここに島根県立江津高等学校、令和4年度入学式を挙行できますことは、私たち教職員一同にとり、この上ない喜びであります。新型コロナウイルス感染防止の観点から、在校生、来賓の皆様の参列がかなわないことは誠に残念ではありますが、在校生諸君は各教室においてリモートでこの式の様子を視聴しています。在校生、教職員一同、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

さて、ただ今、入学を許可いたしました60名の新入生の皆さん、あらためて本校への入学おめでとうございます。今、皆さんの心の中は、これから始まる高校生活にわくわくする気持ちと新たな環境での生活に対する不安とが入り交じっているのではないのでしょうか。「初心忘るべからず」という言葉があります。まさに今の新鮮な気持ちを、どうか忘れずにこれからの高校生活を送って欲しいと思います。

高校生活のスタートにあたり、三つのことをお話します。

一つ目は、「学校は学びの場である」ということです。知らなかったことがわかる、できなかったことができるようになる、そのことの喜び、醍醐味を感じて欲しい。学びの場は、授業だけでなく、部活動や学校行事などたくさんあります。また、本校は学校の中だけで学ぶのではなく、地域との関わりを通して学ぶ機会もたくさんあります。自らの成長のために様々なことにチャレンジして欲しい。高い志と理想を持ち、自分の可能性に挑戦して欲しい。本校は皆さんに多様な学びの場、学びの機会を提供します。

二つ目は、「学校は小さな社会である」ということです。社会には守るべきルールがあります。規範意識を持って、自らを律する力を身に付けて欲しい。多様な価値観を認め、視野を広げ、仲間と協働する力を身に付けて欲しい。この4月から改正された民法が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられます。ここにいるほとんどの皆さんが、本校在籍中に成年、大人になります。自立した主権者として自らの言動に自覚と責任を持って欲しい。本校は皆さんを大きな子どもではなく、小さな大人として尊重します。

三つ目は、「学校は楽しむところである」ということです。楽しさは待っていて与えられるものではありません。自ら考え、判断し、行動することが大切です。皆さん自身が主体的・積極的に参画する意思と姿勢を持って欲しい。皆さんの力で、この江津高校をさらに魅力溢れる学校にして欲しい。本校は皆さんの「やってみたい」を応援します。

もう一度言います。「学校は学びの場である」「学校は小さな社会である」「学校は楽しむところである」、この三つのことを心に留め、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。あらためてお祝い申し上げますとともに、お子様の成長と大きな志の実現のために、教職員が一丸となって尽力することをここにお約束いたします。お子様の健全な成長のためには、学校とご家庭の連携協力も必要です。保護者の皆様方には、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和四年四月九日

島根県立江津高等学校長 田村康雄